

研究実施のお知らせ

研究課題名：患者データを用いた大動脈 CTA 撮影条件の最適化の研究

研究期間：仙台市立病院倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和 3 年 3 月 30 日施行)に基づき、既存情報の研究利用について、以下に公表いたします。

【研究の対象となる方】

2023 年 1 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日まで、当院で CT 検査を受けられた患者の方。

【研究の目的と意義】

当院では大動脈解離や大動脈解離疑い、またはそのフォローアップのために大動脈 CT angiography(以下 CTA)検査をおこなっております。従来の大動脈 CTA 撮影条件では、造影剤によるアーチファクトにより画質劣化が生じる場合があります。造影剤注入方法を工夫することで画質改善に努めてきましたが、従来撮影条件との比較評価は行っていませんでした。また、2025 年に我が国の診断参考レベル(DRLs2025)が更新されました。当院では従来から DRLs2020 の線量評価を行い、被ばく量の適正を確認していましたが、大動脈 CTA において最新基準である DRLs2025 と比較した線量評価は行っていませんでした。

今回、当院で撮影された大動脈 CTA のデータ解析を行います。造影剤注入方法や線量の最適化を行うことで、より質の高い CT 検査となることが期待できます。

【研究の方法】

対象患者さんについて、電子診療録から CT 画像、年齢、身長、体重、性別の情報を収集して行います。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【研究に用いる資料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(匿名化された検査の CT 画像)を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を慎重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

【利益相反の状況】

この研究は外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究代表者には開示すべき利益相反はありません。

【研究の実施体制】

この研究は、仙台市立病院で実施されます。

研究代表者：仙台市立病院 放射線技術科 佐々木洋輔

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 放射線技術科

科長 小林 裕一 （当院の研究責任者：佐々木 洋輔）

仙台市太白区あすと長町1丁目1番1号

電話：022-308-7111（代表）